

令和4年度事業報告

東日本大震災及び東京電力（株）福島第一原子力発電所事故から12年が経過した。

原子力科学館のリニューアル工事は、5ヶ年計画の2年目（第二期）となるラジエーションボックス（世界最大級の霧箱等）の整備に引き続き、第三期分として、線量計測や体験アイテム等を通じて身近な放射線や元素について学べる「ネイチャータウン」コーナーの整備を行い、3月4日より一般公開を開始した。

また、展示館事業及び普及啓発事業については、令和2年度を初年度とする「中期計画」の3年目として、新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら計画に沿って事業を進めてきた。

こうした中、本年度は感染拡大による行動制限が解除されたことから、臨時休館もなく、来館者数もコロナ禍の影響を受けていない平成30年度（21,264人）の水準を1,153人上回り、東日本大震災以降、最も多い22,417人となった。

今後とも、新型コロナウイルスの感染状況についても注視しつつ、限られた資源を有効に活用して事業を推進し、科学技術の振興に寄与していく。

I 展示館事業

1 原子力科学館の常設展示及び企画展示等

(1) 原子力科学館展示物のリニューアル計画

原子力科学館展示物等のリニューアルについては、リニューアル基本構想（5ヶ年計画）に基づく詳細設計に従い、茨城県及び関係市町村の支援並びに外部有識者の助言をいただきながら、計画どおり第三期工事「ネイチャータウン-自然界の放射線-」コーナーの整備を、本年3月3日に完了した。

この間、科学館での工事は、来館者の安全と来館者数に影響の少ない休館日を中心に実施した。

ネイチャータウンは、新型コロナウイルス感染拡大防止に万全を期しながら、3月4日から一般公開を開始し、同日並びに5日にはオープン記念イベントを開催した。

また、2月にはホームページを活用し、当該工事完成計画図を公開するとともに、イベント告知のチラシを学校等へ配布するなど、積極的に情報発信を行った。

なお、令和4年度来館者数は22,417人となり、年間来館者は前年度より、6,445人上回った。

(2) 常設展示

	展示名	開催時期	内 容
①	常設展示	通年	<ul style="list-style-type: none">・原子の科学や放射線の基礎、原子力と放射線の利用及び原子力の安全に関する展示・ガイダンスシアター アトミックトラベル-原子の力-・ラジエーションボックス -放射線の正体-（世界最大級の霧箱等）

			・ネイチャータウン-自然界の放射線- (令和5年3月4日～)【新規】
②	放射線利用展	通年	・医療、工業、農業など広範な分野で利用されている放射線について、実物照射製品、医療施設等の模型、パネルを展示
③	J-PARCの概要	通年	・大強度陽子加速器施設(J-PARC)について、パネル及び模型を展示
④	福島第一原発事故展示	通年	・事故の収束に向けた道筋に関する東京電力資料をパネルで展示
⑤	JCO臨界事故模型	通年	【経済産業省からの受託事業】 ・JCO臨界事故について、装置の模型、映像、パネルを展示
⑥	東海第二原子力発電所の安全対策に係る展示	通年	【日本原子力発電(株)からの受託事業】 ・東海第二発電所における、福島第一原発事故以降の安全対策に係るパネル等を展示
⑦	梶田教授のノーベル物理学賞受賞記念展示	通年	・梶田教授のノーベル物理学受賞及びJ-PARCとスーパーカミオカンデを繋ぐT2K実験の解説パネルを展示

(3) 企画展示及び関連講演会

	展示名・講演会名	開催時期	内 容
①	潜水調査船がみた深海生物	4/19～5/29	JAMSTECの潜水調査船が深海で遭遇した深海生物を写真で紹介するとともに、その不思議な生態の一部を解説
	講演会「生きものの不思議～プランクトンからペンギンまで～」	5/29	講師：アクアワールド茨城県大洗水族館 海獣展示課 金高 卓二 氏 参加人数：55名
②	宇宙をさわる	12/6～1/15	地球や、月、惑星などの太陽系天体の模型や、宇宙を観測する望遠鏡の立体模型など、視覚の有無を乗り越え万人にとって、触ることで理解しやすく、かつ、宇宙を身近に感じられる模型等を展示
	講演会「冬の星座と惑星のおはなし&観望会」	12/18	講師：茨城県立土浦第三高等学校 岡村 典夫 氏 参加人数：62名
③	はやぶさ2のミッションにチャレンジ!	2/10～3/26	はやぶさ2のミッションを遊びながら楽しめる体験型の展示
	講演会「地球や惑星の誕生をさぐる」	3/5	講師：茨城大学理工学研究科理学部 百瀬 宗武 氏 参加人数：68名

(注) 全国科学館連携協議会との共催による企画展

(4) 貸しギャラリー

	展示名	開催時期	内 容
①	第 34 回アートロード展	3/23～4/10	・東海村に居住又は勤務する、文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品展（絵画・写真・書）
②	癒しの風景写真展 Ⅷ「彩りもどる季」	11/15～ 11/20	・萩野谷 泰伸 氏による自然風景を撮った写真展
③	常陸てまり展	12/6～3/26	・「二川良子と仲間達」による、てまり作品展
④	第 35 回アートロード展	3/28～4/16	・東海村に居住又は勤務する、文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品展（絵画・写真・書）

2 原子力科学館イベント

	イベント名	開催時期	内 容
(1)	ゴールデンウィークイベント	5/3～5/5	① 実験教室「音ってなあに？」 ② 茨大大道芸サークルによるバルーンアート体験会 ③ 交通安全教育&白バイ・パトカー乗車体験 ④ 盲導犬の訓練犬とふれあい体験 ⑤ 工作教室の開催 3 件 ①⑤詳細：Ⅱ 普及啓発事業 1(3) 参照 来館者数：1,288 名
(2)	夏休みイベント	7/16～8/31	① 工作教室の開催 3 件 詳細：Ⅱ 普及啓発事業 1(3) 参照 ② 紙ダイナソー ③ アインシュタイン博士からの謎解き挑戦状 ④ 自然放射線測定体験 詳細：Ⅱ 普及啓発事業 1(4) 参照 来館者数：6,135 名
(3)	クリスマスイベント	12/10、11	① 工作教室の開催 2 件 ② ジオ・ラボ号、実験コーナー 詳細：Ⅱ 普及啓発事業 1(3) 参照 来館者数： 482 名
(4)	バレンタインイベント	2/11、12	・ 工作教室の開催 4 件 詳細：Ⅱ 普及啓発事業 1(3) 参照 来館者数： 564 名
(5)	リニューアルオープン記念イベント	3/4、5	・ 工作・実験教室の開催 2 件 詳細：Ⅱ 普及啓発事業 1(3) 参照 来館者数： 478 名
(6)	親子星空観望会 &ナイトミュージアム	8/4、10、19 1/6 2/17	計 5 回開催 詳細：Ⅱ 普及啓発事業 1(3) 及び 2(3) 参照 参加人数： 195 名

(7)	スタンプラリー& スタンプチャレン ジ	6/1～30 7/23～8/31 12/1～1/9 1/14～3/24	① 3館スタンプチャレンジ【新規】 ② 夏休みスタンプラリー ③ 3館スタンプチャレンジ ④ 2館スタンプチャレンジ
(8)	ダンボール迷路 【新規】	6/23～7/24 9/5～10/30	小学生及び未就学児を対象に実施
(9)	毎日クイズラリー &カタカナラリー		科学館チャレンジクイズを実施：中学生以下対象 カタカナを探すクイズを実施：未就学児対象

3 近隣科学館及び事業所等との連携

(1) スタンプラリー及びスタンプチャレンジ

日立シビックセンター科学館、大洗わくわく科学館、げんでん東海原子力館別館、当館による夏休みスタンプラリーを7/23～8/31に実施し、4館達成者500名に記念品を贈呈した。また、今年度は、新規に東海村歴史と未来の交流館、げんでん東海原子力館別館、当館による3館スタンプチャレンジを6/1～6/30及び12/1～1/9に実施し、達成者939名に記念品を贈呈した。その他、げんでん東海原子力館別館と当館による2館スタンプチャレンジを1/14～3/24まで実施し、2館達成者2,198名に記念品を贈呈した。

(2) 職場体験

各学校からの依頼に基づき、小・中学校の児童・生徒を受入れ、放射線の基礎知識及び学芸員体験実習等の体験教育を行った。

- ・6/10 日立市立久慈中学校2年生2名【新規受入れ】
- ・8/3 東海南中学校2年生2名及び茨城町立青葉中学校2年生5名【新規受入れ】
- ・8/9 東海中学校2年生5名
- ・11/2 東海村立村松小学校6年生5名

(3) 原子力広報機関連絡会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止

4 原子力科学館の運営管理

(1) 原子力科学館における新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- ① 職員のマスク着用、出勤前の体温測定の徹底及び来館者へのマスク着用をお願い
- ② 施設出入口及び館内にアルコール消毒液の設置(本館5ヶ所、別館1ヶ所)
- ③ 案内カウンター及びイベントでの机上に飛沫防止用の透明アクリル板等の設置
- ④ 非常扉等を開放しての換気強化及びイベント参加人数の制限
- ⑤ 多くのお客様が触れられる展示物、手摺等は、定期的に消毒
また、抗ウイルス・抗菌性軟質フィルムの貼付
- ⑥ いばらきアマビエちゃんの事業者登録
- ⑦ 入口付近に非接触式検知器を設置し、来館者の体温を測定

(2) 原子力科学館ホームページの更新

原子力科学館ホームページについて、スマートフォンにも連動したデザインに全面的に更新を行った。次年度はSNS (Facebook、Twitter) 等のさらなる活用を図れるよう、改変に取り組んでいく。

(3) 展示施設の維持管理

- ① 地震時避難誘導訓練（毎月）
- ② 火災時の通報訓練、消火訓練（1回/年、11月7日）
- ③ 普通救命講習会（1回、7月11日）
- ④ 多目的広場照明器具の整備【新規】
故障した照明をLEDランプに交換を行った。
- ⑤ 別館和室エアコンの整備【新規】
故障したエアコンの更新を行った。
- ⑥ バックヤード分電盤内の整備【新規】
故障したブレーカーの部品交換を行った。
- ⑦ 2階女子更衣室の防火対策【新規】
北側ガラス面に壁を新設し、防火対策を行った。

(4) 原子力科学館への誘客広報

- ① 周辺地域の公共施設、観光施設等に原子力科学館リーフレットを常時配置
- ② 近県の旅行代理店や茨城県内のバス事業者に原子力科学館リーフレットを送付
- ③ 原子力科学館の年間イベントスケジュールの早期発信
- ④ 県内キャンプ場・バーベキュー施設等へ周期表プレゼント付きリーフレット送付
- ⑤ 「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」のサイクルサポートステーションに登録
- ⑥ 「県内観光地周遊デジタルスタンプラリー」に参加【新規】
- ⑦ 「縁結び大学」のホームページに主な展示物を掲載【新規】

5 令和4年度来館者数

（単位：人）

	4年度	3年度	2年度	増減 (4年度－3年度)	備考 (H22年震災年度)
団体	2,447	1,332	1,069	1,115	5,801
個人	19,970	14,640	9,302	5,330	25,232
計	22,417	15,972	10,371	6,445	31,033

(注) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2年度はR2.4/1～5/31及びR3.1/19～2/11、R3年度はR3.8/18～9/26臨時休館

II 普及啓発事業

1 講演会、セミナー等開催事業

	事業名	実施時期	内 容
(1)	教員向けセミナー	11/15～11/30 12/14、20	原子力教員セミナー【茨城県からの受託事業】 対象：県内の教職員，教育委員会職員等 ① 動画配信 講義「放射線の基礎知識」 参加人数：125名 ② 実習「身の回りの放射線測定体験」、「目で見る放射線観測体験」及び原子力関連施設見学 開催場所：県オフサイトセンター 原子力科学館 実施回数： 2回 参加人数： 18名

(2)	出前授業	9/7～3/2	<p>学校への原子力専門家派遣事業</p> <p>【茨城県からの受託事業】</p> <p>学校へ出向き、授業の一環として放射線に関する実験教室や講演を実施</p> <p>開催場所：各小中高等学校など</p> <p>実施回数： 28回</p> <p>参加人数：1,238名</p> <p>詳細：別表1参照</p>
(3)	<p>サイエンス工房</p> <p>【ゴールデンウィークイベント】</p> <p>【夏休みイベント】</p> <p>【クリスマスイベント】</p> <p>【バレンタインイベント】</p>	<p>5/3</p> <p>5/3</p> <p>5/4</p> <p>5/5</p> <p>7/26</p> <p>8/11</p> <p>8/12</p> <p>12/10</p> <p>12/10、11</p> <p>12/11</p> <p>2/11</p> <p>2/12</p> <p>2/12</p>	<p>次世代層を対象に、科学への関心・興味を喚起することを目的に実施</p> <p>① 実験教室「音ってなあに？」 : 35名 協力：公益社団法人日本技術士会 茨城県支部 詳細：Ⅱ普及啓発事業2(2)参照</p> <p>② 工作教室「スイスイのびる！楽しいマジックハンド」 : 91名</p> <p>③ 工作教室「スライムであそぼう！」 : 97名</p> <p>④ 工作教室「キラキラ万華鏡」 : 87名</p> <p>⑤ 工作教室「スライムであそぼう！」 : 154名</p> <p>⑥ 工作教室「おゆまるで化石のレプリカを作ろう！」 : 84名</p> <p>⑦ 工作教室「ミニミニすいぞくかん」 : 150名</p> <p>⑧ 「バルーンアートで手づくりクリスマスリース」 : 68名 協力：NUMO 原子力発電環境整備機構</p> <p>⑨ ジオ・ラボ号がやってくる！ 展示車乗車 : 252名 ベントナイト実験 : 212名 バスボム作り : 259名 紙アプリ : 250名 協力：NUMO 原子力発電環境整備機構 詳細：Ⅱ普及啓発事業2(2)参照</p> <p>⑩ 工作教室「スライムであそぼう！」 : 92名</p> <p>⑪ 工作教室「スネークダンサー」 : 61名</p> <p>⑫ 工作教室「きらきらステンドグラス！」 : 88名</p> <p>⑬ 実験教室「時の彼方からよみがえるウランガラスの輝き」 : 88名 協力：原子力機構廃炉環境国際共同研究センター 研究主幹 西村氏 他1名 詳細：Ⅱ普及啓発事業2(2)参照</p>

	<p>【リニューアルオープン記念イベント】</p> <p>3/4</p> <p>3/4</p> <p>【星空観望会】</p> <p>8/4</p> <p>8/10</p> <p>8/19</p> <p>1/6</p> <p>2/17</p> <p>【その他】</p> <p>8/18</p> <p>11/10</p>	<p>⑭ 実験教室「サイフォンの不思議を知ろう」 ： 44 名 協力：公益社団法人日本技術士会 茨城県支部</p> <p>⑮ 工作教室「飛べ！カラフルロケット！」 ： 81 名</p> <p>⑯ 親子星空観望会 ： 35 名</p> <p>⑰ 親子星空観望会 ： 38 名</p> <p>⑱ 親子星空観望会 ： 39 名</p> <p>⑲ 親子星空観望会&ナイトミュージアム ： 42 名</p> <p>⑳ 親子星空観望会&ナイトミュージアム ： 41 名 詳細：Ⅱ普及啓発事業 2(3)参照</p> <p>㉑ 放射線測定体験 ： 38 名</p> <p>㉒ 放射線測定体験 ： 42 名</p> <p>合計：2,468 名</p>
(4)	<p>科学館でのイベント(サイエンス工房以外)</p> <p>7/30～8/28</p> <p>7/16～8/31</p> <p>8/2～8/5</p>	<p>① 紙ダイナソー(自分で塗った恐竜が動き出す) ： 1,395 名</p> <p>② アインシュタイン博士からの謎解き挑戦状 ： 1,352 名</p> <p>③ 自然放射線測定体験 ： 343 名</p>
(5)	<p>シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」</p> <p>9/10</p> <p>10/8</p> <p>11/5</p>	<p>アインシュタインスクール 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を制限及び感染防止対策を実施して開催</p> <p>【鉾田市との共催事業】 (会場：鉾田市旭地区学習等供用施設)</p> <p>第1回 演題：放射線の基礎と生体影響 講師：茨城大学大学院教授 田内 広 氏 参加人数：33 名</p> <p>第2回 演題：原子力事故と安全・防災対策 講師：東京大学大学院教授 岡本 孝司 氏 参加人数：34 名</p> <p>第3回 演題：放射性廃棄物と原子燃料サイクル 講師：東京大学名誉教授 寺井 隆幸 氏 参加人数：34 名</p>

		11/26	第4回 演題 : 世界と日本のエネルギー問題 講師 : 常葉大学名誉教授 山本 隆三 氏 参加人数 : 33 名
		12/23	第5回 原子力施設見学会 : 量子科学技術研究開発 機構那珂研究所及び原子力科学館 参加人数 : 26 名 合計 : 160 名
(6)	原子力と放射線の 基礎知識普及啓発 講座	9/21	【茨城県からの受託事業】 普及啓発講座 第1回 市町村 : 小美玉市 受講者 : 航空自衛隊百里基地救難隊 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 原子力科学館 別館研修室 参加人数 : 9 名
		9/22	第2回 市町村 : 小美玉市 受講者 : 航空自衛隊百里基地救難隊 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 原子力科学館 別館研修室 参加人数 : 9 名
		10/29	第3回 市町村 : 東海村 受講者 : 茨城県民 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 原子力科学館 別館研修室 参加人数 : 17 名
		12/24	第4回 市町村 : 日立市 受講者 : 茨城県民 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 日立シビックセンター 参加人数 : 16 名
		1/25	第5回 市町村 : 小美玉市 受講者 : 航空自衛隊百里基地救難隊 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 航空自衛隊百里基地 参加人数 : 52 名

	1/28	<p>第6回</p> <p>市町村 : 常陸太田市 受講者 : 常陸太田市民 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 広域避難バス車内 参加人数 : 17 名</p>
	1/28	<p>第7回</p> <p>市町村 : 常陸太田市 受講者 : 常陸太田市民 講師 : 中瀬 恒雄 氏 開催場所 : 西小沢公民館 参加人数 : 13 名</p>
	1/28	<p>第8回</p> <p>市町村 : 常陸太田市 受講者 : 常陸太田市民 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 里美文化センター 参加人数 : 29 名</p>
	2/12	<p>第9回</p> <p>市町村 : 那珂市 受講者 : 那珂市民 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 大内公民館 参加人数 : 22 名</p>
	2/12	<p>第10回</p> <p>市町村 : 常陸大宮市 受講者 : 常陸大宮市民 講師 : 中瀬 恒雄 氏 開催場所 : 北富田集会所 参加人数 : 9 名</p>
	2/18	<p>第11回</p> <p>市町村 : ひたちなか市 受講者 : ひたちなか市長砂地区住民 講師 : 中村 和幸 氏 開催場所 : 長砂転作推進センター 参加人数 : 30 名</p>
	2/28	<p>第12回</p> <p>市町村 : 茨城町 受講者 : 茨城町民 講師 : 中瀬 恒雄 氏 開催場所 : 原子力科学館 別館研修室 参加人数 : 17 名</p>

		3/4	第13回 市町村 : 水戸市 受講者 : 茨城県民 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : ザ・ヒロサワシテイ会館 参加人数 : 16 名
		3/14	第14回 市町村 : 常陸大宮市 受講者 : 常陸大宮市民 講師 : 田村 勝裕 氏 開催場所 : 常陸大宮市文化センター 参加人数 : 56 名
(7)	出前原子力展示	8/27 (10/16) 11/19、20 11/23	市町村等のイベントに霧箱やパネルを展示し、放射線や原子力の基礎知識のミニ教室を開催 ① なかひまわりフェスティバル 開催場所 : なか LuckyFM 公園 ② 涸沼環境フェスティバル 開催場所 : 茨城町涸沼自然公園 (規模制約により不参加) ③ 商工感謝祭&大洗あんこう祭 開催場所 : 大洗マリンタワー周辺 ④ 東海 I~M0 のまつり 開催場所 : 東海文化センター
(8)	視察研修 研修会	(10/26 ~ 10/27) 11/30	研修会 ① 群馬方面 (神流川水力発電所等) 中止 ② 福島方面 (福島第一原子力発電所等) 参加人数 : 21 名
(9)	那珂市原子力科学 工作教室	8/26	【那珂市からの受託事業】 ・目で見える放射線観測体験 (霧箱作製) 参加人数 : 28 名 (小学 4~6 年生)
(10)	鉾田市原子力工作 教室	2/19	【鉾田市からの受託事業】 ・目で見える放射線観測体験 (霧箱作製) ・おゆまるで化石のレプリカを作ろう 参加人数 : 29 名 (小学生と保護者)
(11)	ひたちなか市 原子力科学工作教 室	8/7	【ひたちなか市からの受託事業】 ・目で見える放射線観測体験 (霧箱作製) 参加人数 : 20 名 (小学生と保護者)
(12)	ひたちなか市 原子力施設見学会 【新規】	10/19 10/25 10/26 11/15	【ひたちなか市からの受託事業】 ① 大島公園西自治会 : 9 名 ② 殿山町自治会 : 13 名 ③ 足崎団地自治会 : 10 名 ④ 六ツ野自治会 : 15 名 主な見学先 : 日本原子力発電 (株)、げんでん東

			海テラパーク、三菱原子燃料(株)、量子科学技術研究機構那珂研究所
(13)	エネルギー学習バス	9/13 11/17 12/13 2/17	児童・生徒に原子力科学館の見学と体験教室を通して、放射線の基礎知識を含むエネルギーについて学ぶ学校等へ、バス借上代金の一部を補助する制度 第1回 学校等 : 日立市立東小沢小学校 参加人数 : 10名 第2回 学校等 : ひたちなか市立美乃浜学園 参加人数 : 53名 第3回 学校等 : 水戸市立飯富小学校 参加人数 : 22名 第4回 学校等 : 日立市立仲町小学校 参加人数 : 19名
(14)	新春のつどいの開催	1/10	参加人数の制限、立席、食事無しでの開催 会場 : 水戸プラザホテル 参加人数 : 279名 出席者 : 国会議員、県知事、県議、市町村長、正会員、賛助会員他 出展ブース : 鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市、(公社)茨城原子力協議会

2 近隣科学館及び事業所等との連携

(1) 第26回東海 I~M0 のまつり

東海 I~M0 のまつり (11/23) に共催し、原子力 8 事業所 40 名にご協力いただき、原子力部門として各コーナーを出展した。

(2) 原子力科学館イベント

NUMO 原子力発電環境整備機構にジオ・ラボ号展示車、ベントナイト実験コーナー等で協力いただいた。(12/10、11) また、原子力機構に実験教室 (2/12)、日本技術士会に工作教室 (5/3、3/4) の実施で協力いただいた。

(3) 親子星空観望会

花立山天文台ボランティアスタッフ及び日立シビックセンター科学館の天文ボランティアの方に講師として対応いただいた。(8/4、10、19、1/6、2/17)

3 調査・分析、資料収集・提供事業

(1) 広報紙「かがやき」の発行

発行回数	4回/年
発行部数	10,000部 (2,500×4回)
主な内容	<p>第84号 (7月14日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度定時総会を開催、GWイベント報告、シリーズ「全国の原子力関連施設の現状と普及啓発活動」、市町村夏のイベント情報、原子力科学館「ラジエーションボックスー放射線の正体ー」展示開始、職場体験学習報告、展示館イベント情報他 <p>第85号 (9月15日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の原子力科学科イベント報告、普及啓発事業募集、職場体験学習報告、原子力科学工作教室開催、シリーズ「全国の原子力関連施設の現状と普及啓発活動」、市町村秋のイベント情報、シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」開講、展示館イベント情報他 <p>第86号 (12月8日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力科学館リニューアル報告、学校への原子力専門家派遣事業報告、職場体験学習報告、市町村イベント出展、市町村冬のイベント情報、展示館イベント情報他 <p>第87号 (3月14日発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年新春のつどいを開催、原子力科学館第三期工事完成、シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」開催、クリスマスイベント・バレンタインイベント開催、市町村春のイベント情報、展示館イベント情報他

※本年度も、原子力協議会ホームページに掲載し、適時に情報提供を図った。

(2) 放射線監視・防災対策専門員の市町村等への配置【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和4年4月1日～令和5年3月31日
配置先及び配置人数	茨城県、東海村、大洗町 各2名 那珂市、日立市、常陸太田市、茨城町 各1名
活動内容	放射線監視や原子力防災業務の支援

(3) 環境放射線監視データの整理・分析【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和4年5月18日～令和5年3月31日
実施内容	<p>監視委員会評価部会報告書(案)取りまとめ、データ分析、印刷 85部×4回</p> <p>監視委員会評価部会報告書取りまとめ、印刷 105部×1回</p> <p>環境放射線監視季報 取りまとめ、印刷 320部×1回</p>

(4) ラジオ等を媒体とする原子力広報【茨城県からの受託事業】

ラジオ広報	
実施時期	令和5年2月13日～3月10日
実施回数	40回 (2回/日)
実施内容	<p>茨城放送を活用し、専門家がアナウンサーの問いにわかりやすく答えるQ&A形式で実施</p> <p>質問内容は、各種講演会等で寄せられたものをベースに作成</p>

動画広報	
実施内容	ラジオ広報のQ&A形式内容を、さらにわかりやすく図や表を加え動画として制作

Ⅲ 役員等に関する事項

	日程	審議事項
第1回理事会	5月30日	令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度定時総会の開催、中期計画（令和2年度～令和6年度）の進捗状況、原子力科学館のリニューアル進捗状況、役員候補者名簿（案）、会員異動状況について
定時総会	6月29日	令和3年度事業報告及び収支決算、理事の選任、原子力科学館のリニューアル進捗状況、会員異動状況について
第2回理事会	11月24日	令和4年度収支予算の補正、賛助会員の入会、原子力科学館のリニューアル進捗状況、新春のつどいの開催について
第3回理事会	2月28日	令和4年度事業報告、収支予算の補正及び決算見込み、原子力科学館のリニューアル進捗状況、会員異動状況について
第4回理事会	3月10日	令和5年度事業計画書の承認、令和5年度収支予算書の承認

※第4回理事会は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び当協議会定款第34条第2項の規定に基づき、書面による開催とした。

Ⅳ 組織体制等に関する事項

1 財務体質の強化

会員の退会等が続いており、更に施設・設備の老朽化に伴う修繕費の増加が避けられず、財務状況は依然として厳しい状況にある。

このため、新規会員の獲得、退会の慰留、会費の増額要請のほか、経費の削減を図るなど、財務体質の強化に努めた。

2 事業力の強化

新型コロナウイルス感染拡大の影響を見据えながら、原子力施設の周辺地域のみならず茨城県全域において、普及啓発活動などの事業展開を図るとともに、国、県などの補助制度の積極的な活用並びに新たな受託事業獲得への取り組みを進めるなど、事業力強化に努めた。

3 組織体制

数少ない人的資源を有効に活用するため、日頃から職場研修等を通じて、職員の事務処理能力の向上とスキルアップを図るとともに、「顧客第一」の徹底を図った。

Ⅴ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響

新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえながら、各種イベントの開催、県・市町村からの受託業務や近隣市町村の産業祭等にも参加し、ほぼ年間計画どおりに実施することができた。

そのような状況から、来館者数もコロナ禍の影響を受けていない平成30年度(21,264人)

を1,153人上回った。(来館者数－参考資料参照)

なお、科学館の開館及びイベント開催に当たっては、引き続き感染防止のための消毒や換気及び人数制限等の3密対防止対策を実施した。

また、IT化推進ワーキンググループの設置を継続し、主にホームページについて検討を進め、令和5年度当初から、ホームページの更新を行った。

令和4年度学校への原子力専門家派遣事業の実績一覧

No.	日 時			市町村	学 校	対 象	実施人数	講義	霧箱	測定
1	9月 7日	水	13:00～14:30	常陸太田市	誉田小学校	5年生	20		○	
2	9月13日	火	12:15～14:30	日立市	東小沢小学校	1,3,4,5,6年生	10			○
3	9月26日	月	14:35～15:20	ひたちなか市	長堀小学校	理科クラブ 4年～6年生	28		○	
4	9月29日	木	13:30～14:15	八千代町	川西小学校	6年生	14		○	
5	10月 3日	月	9:25～12:10	日立市	大久保小学校	5年生	82		○	
6	10月 4日	火	9:25～12:10	日立市	大久保小学校	6年生	75		○	
7	10月28日	金	12:30～14:15	常陸大宮市	大賀小学校	5年生	12		○	
8	11月 2日	水	9:30～12:30	常総市	水海道中学校	3年生	98		○	
9	11月16日	水	14:30～15:15	古河市	西牛谷小学校	科学クラブ 4年～6年生	16		○	
10	11月17日	木	13:40～15:10	ひたちなか市	美乃浜学園	5年生	53		○	
11	11月22日	火	9:30～14:30	小美玉市	堅倉小学校	5年生	53		○	
12	11月30日	水	10:00～14:30	石岡市	府中小学校	5年生	72		○	
13	12月 1日	木	9:55～11:45	東海村	東海高校	2年生	10			○
14	12月 5日	月	9:30～11:25	東海村	白方小学校	6年生	49		○	
15	12月 7日	水	10:00～14:30	笠間市	稲田小学校	5年生	43		○	
16	12月12日	月	11:30～12:15	東海村	白方小学校	6年生	25		○	
17	12月13日	火	12:00～14:20	水戸市	飯富小学校	5年生	22		○	
18	12月14日	水	9:55～11:45	東海村	東海高校	1年生	72		○	
19	12月15日	木	9:55～11:45	東海村	東海高校	1年生	73		○	
20	12月22日	木	9:25～11:15	鹿嶋市	中野西小学校	5, 6年生	19			○
21	1月23日	月	11:05～14:10	八千代町	中結城小学校	6年生	49		○	
22	1月25日	水	9:30～11:30	取手市	戸頭中学校	3年生	65		○	
23	1月26日	木	11:25～14:25	八千代町	下結城小学校	5, 6年生	47		○	
24	2月 6日	月	10:30～12:20	水戸市	水戸第二中学校	2年生	55		○	
25	2月 7日	火	10:30～12:20	水戸市	水戸第二中学校	2年生	59		○	
26	2月 9日	木	9:30～12:20	取手市	永山中学校	3年生	80		○	
27	2月17日	金	12:15～14:45	日立市	仲町小学校	5年生	19		○	○
28	3月 2日	木	12:00～14:00	常陸太田市	里美小学校	6年生	18		○	

実施人数合計 1,238 人